



なんぶ

# 議会だより

第55号

平成30年6月議会  
発行/平成30年8月



- 平成30年度補正予算 .....2
- 一般質問 .....4
- 住民の声をきく会 .....10
- 法勝寺振興協議会 .....12

鶴田の観光ブルーベリー農園



## 財産の無償貸与について

事業中の協同組合レングスに無償貸与している町有地を事業承継する新たな株式会社鳥取CLTに、今まで勤めている従業員の雇用の継続と町内に与える好影響を評価すると共に、経営の早期安定を支援するため3年間の期限付きで無償貸与する。

全員一致で可決

## 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

支援員の資格要件の改正点

- ①教員の免許状を有する方。
- ②5年以上放課後児童クラブに働いた方で町長が認めた方

賛成多数で可決

## 陳情 地方財政の充実・強化を求める陳情

提出者／自治労鳥取県本部執行委員長 西村 裕生

採 択 国へ意見書を提出

6月議会の発議は7件（3件は議員発議、1件は陳情採択）であった。

## 発議 「働き方改革」一括法案の廃案を求める意見書

提出者／真壁 容子 賛成者／亀尾 共三・加藤 学

賛成少数不採択

## 討論

### 反対

①既に、今国会で衆議院での法案が採決され通過しているので廃案の意見書提出には反対である。

### 賛成

①この法案は、厚生労働省の調査から400件を超える不適切なデータが発覚している。あまりにもずさんすぎるので廃案を強く求め賛成する。

②高度プロフェッショナル制度で残業代ゼロ制度になるのを廃案を強く求める。賛成する。

| 発議案／議員名（議席番号順）            | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|---------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 「働き方改革」一括法案の廃案を求める意見書採決結果 | ○  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ○  | ○  |

## 発議 「高度プロフェッショナル制度」再考を求める意見書

提出者／景山 浩 賛成者／板井 隆・長束 博信

賛成多数採択

| 討論                                                       |                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 反対                                                       | 賛成                                                                                                                |
| ①高度プロフェッショナル制度は、「残業代ゼロ法案」「過労死促進」そのものを反対するので意見書提出には反対である。 | ①高度プロフェッショナル制度の対象となるのは、今のところ、研究開発や金融、コンサルティングといった高度な専門的知識を必要とする業務に就く年収1075万円以上の労働者とされていますが、労働時間を規定するよう再考を求める賛成する。 |

| 発議案／議員名（議席番号順）               | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 「高度プロフェッショナル制度」再考を求める意見書採決結果 | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |
| 公文書隠ぺい・改ざん事案の真相究明を求める意見書採決結果 | ○  | ×  | ×  | ○  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ○  | ○  |
| 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について採決結果  | ×  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |

平成30年6月定例議会が、6月15日から22日までの会期で開催され、平成30年度の一般会計補正予算と条例の制定ほか2議案・陳情1件と7発議が審議され、2発議が不採択された以外はすべて可決されました。

# 一般会計補正予算 賛成多数で可決

歳入歳出予算の総額に92,316千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ7,060,316千円とする。

## 複合施設整備検討事業

……53,978千円

さいはく分館の建て替えにより、公民館・図書館・交流拠点・バスターミナル等としての機能を併せ持つ複合施設を整備する。

今年度は、整備基本計画を基に設計委託・地盤調査・地形測量委託・用地費の予算。

31年度 建設工事

## 旧法勝寺高校跡地整備事業

……8,488千円

旧法勝寺高校跡地にある旧校舎及び大豆加工所の解体撤去工事及び、現在施設内にある物品の移送等を行い、更地にして(公社)青年海外協力協会に町有地を売却する。

## 東西町スポーツ広場管理事業

……2,277千円

29年度に整備工事は完了したが、利便性・安全性を向上させるため工事を行う。

- ①フェンスの設置
- ②ベンチの設置
- ③防草コンクリート張
- ④スロープ舗装 等

## 経営体育成支援事業

……11,693千円

地域農業の意欲ある担い手の経営安定を図る。地域の中心となる農業経営体が、農業用機械・施設等の整備を行う場合に支援を行う。

- ①融資主体型補助事業 5経営体
- ②条件不利地域型補助事業 1経営体

## 農業振興事業 ……3,280千円

農村振興公社所有のコンバインが故障し、秋の刈り取りに支障をきたすため、コンバインを購入し必要な費用の半額を補助する。

## 除雪機械運転手育成支援事業

……2,000千円

除雪計画に基づいて除雪機械の運転に必要な資格を取得する際に取得経費に対して補助金を交付する。

## 反対意見

①旧法勝寺高校跡地にJOCAが温泉掘削をするが、温泉が出なかったときはどうするのか、仮に温泉が出た場合の温泉の権利がはつきりされていないので反対である。

②複合施設のさいはく公民館建設計画については、工事費が高額になるので反対である。

③大豆加工所の移転は、法勝寺地域の利用者が多く移転するのは反対である。

## 賛成意見

①複合施設は、公民館、図書館、そして公共交通のバス停留所でもあり、基本計画に基づいて進めなければいけないので、賛成する。

②JOCA事業は、なんぶ総合戦略の中で町と一緒に進めていくべきであり、賛成する。

| 会計名／議員名（議席番号順）     | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|--------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 平成30年度一般会計補正予算採決結果 | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |



あなたの声を

町政に問う！



【質問の通告】  
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】  
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

|   | 議員名   | 発言時間 | 質問事項                                                                 |
|---|-------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 三鴨 義文 | 20   | 1 今後の南部町農業                                                           |
| 2 | 荊尾 芳之 | 30   | 1 スポーツ行政<br>2 防災                                                     |
| 3 | 長束 博信 | 25   | 1 人権三法の施行<br>2 男女共同参画の取組み<br>3 なんぶ創生総合戦略                             |
| 4 | 板井 隆  | 30   | 1 複合施設(さいはく分館)整備<br>2 農産物直売所の育成支援                                    |
| 5 | 亀尾 共三 | 30   | 1 法勝寺高校跡地利用事業<br>2 地域経済循環と活性化<br>3 子育て支援の拡充                          |
| 6 | 細田 元教 | 30   | 1 林業施策<br>2 中小企業振興施策                                                 |
| 7 | 加藤 学  | 30   | 1 単独介護用品支給事業<br>2 会見小学校プール開放の中止<br>3 押しボタン式信号機の設置<br>4 手間サテライト拠点整備事業 |
| 8 | 真壁 容子 | 30   | 1 生活保護の捕捉率の向上<br>2 複合施設建設<br>3 ひきこもり対策                               |
| 9 | 仲田 司朗 | 25   | 1 地域包括ケアシステム<br>2 人口増加対策                                             |

農業振興

三鴨義文 議員

Q 今後の南部町の農業ビジョンは

A 集落営農と法人化を推進する 町長



三鴨 町長は平成30年度の施政方針の中でも、南部町の基幹産業である農業を守り林業を振興すると掲げられているが、当初予算を見ても、積極的な新規事業や支援施策が見当たらない。南部町の農業ビジョンをどのように描き、それをどう推進されるお考えなのか今一度伺いたい。

また、担い手による情報交換のため協議会の設置を検討すると言われているが、その進捗状況と推進方法について伺う。

町としては、農業生産法人等の育成と同時に、地縁を基礎にした集落営農の形態をつくっていただくことが、将来へ優良農地を継承していくために必要であると、アンケートの分析からも改めて認識したところである。今後、職員もでき

るだけ地元や町内に出て現状を把握し、どこに住民の希望や願いがあるかをまず知ることが一番基本であると思っている。そこから、必要な施策や支援を適時的確につくっていくことが大切と考えている。

協議会という正式な組織ではないが、今年2月に情報交換会を開き、今後毎年2〜3回開催して、農地の利用調整や担い手問題などを話し合うこととなっている。

また、今年度の集落営農説明会では集落営農を実際に取り組まれている組織の実態を発表してもらええる場を持つことを企画、検討しており、組織化の推進を図っていきたい。



スポーツ行政について

荊尾芳之 議員

Q スポーツを通じた長寿社会の実現は

A 健康づくりと連動した生涯スポーツを 町長



荊尾 南部町から将来も多くの成績優秀な選手や競技団体を、育てていくにはどうすればよいか。スポーツを通じて心身の健康の保持、増進をいかに図るか。健康で活力に満ちた長寿社会の実現のためには、スポーツが果たす役割が不可欠である。

健康な身体があつてこそ、成り立つものがスポーツだと考える、健康寿命の基本であり、運動習慣が健康維持には欠かせない。百歳体操の導入、普及も同様な考え方によるものだと思うが、どうか。

町長 世界大会やオリンピックなど、競技志向で、極めて高いレベルの大会を目指す選手や団体への支援、育成等については、国や都道府県、各種競技団

体の中央組織等が担っていると認識している。例えば本県では、2020東京オリ・パラリンピックへの出場を目指す選手育成のため、世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業を立ち上げ、将来のトップ候補選手の育成に取り組んでいる。本町でも現在1名、これはライフル射撃だと聞いているが、中学生がこの認定を受け、参加していると同っている。また、スポーツクライミングのボルダリング競技では、世界を目指している生徒もいると同っている。町としては、トップアスリートの育成を担う各種取り組みと連携しながら町としての個別の支援が求められると考える。自治体によっては、限定された種目の競技力向上に積極的に取り組む、まちづくりの一環とするところもあるが、市町村が担うスポーツの振興の柱は、あくまで健康づくりと連動した生涯スポーツの普及にあると考えている。

人権三法について

長束博信 議員

Q 町行政の位置づけと周知をどのように

A 私の5つの挑戦の1つの後押し of 法制度だ 町長



長束 ①人権三法(障害者差別解消法・部落差別解消法を町行政にどのように位置づけ、どのように周知を図ってきたのか伺う。

②男女共同参画の取組みの位置づけと男女共同参画社会形成の啓発と条件整備および今後の取り組みについて伺う。

③なんぶ創生総合戦略は5年計画の4年目に入りその進捗と成果はどうか、未達成項目と5年後についての考えを伺う。

町長 ①私が町民と約束した5つの挑戦の中の一つ、人と地球環境に優しい共生のまちづくりを推進するための後押しとなる法制度で人権が大黒柱の町政をさらに前へ進めていきたい。人権会議の主要な取組としてミカエル・セミナー等での学習、地域振興協議会での研修

会、行政職員研修の学習課題として取り上げ鋭意啓発を重ねている。

②平成18年に条例を制定し、平成20年に参画プランを策定、平成26年度から第2次プランにより取組んでいる。男女共同参画推進会議が作成したDVDのS A N チャンネル放送、パバスクールや祖父母を対象の孫育て講座など啓発の充実に努めた。少子高齢化が進む中、男女が生涯を通じて健康で暮らす為の施策の環境整備を進めていかないとけない。

③総合戦略144項目の内、全体の7割が目標を達成又は順調、残りの3割がやや遅れている状況だ。4年目を迎え、社会情勢の変化などを踏まえ点検し、見直しすべき項目と継続していく必要がある取り組みは期間にこだわることなくしっかりと腰を据えて進めていく。新しい項目も取り組む柔軟なスタンスを基本に地方創生を進めて行くことが重要だ。



## 公民館さいはく分館

板井 隆 議員

Q 整備にかかわる基本計画について

A 利用しやすい施設整備に取り組み

町長



**板井** さいはく分館の老朽化に伴い、建て替えを要望する町民利用者の声も多数ある。

民間による、複合施設検討委員会も設置され計画が具体化されるなか、町民に対しては、ワークショップやパブリックコメント等の意見も集約された。

しかし、町民への周知は十分といえないと思う。

①経過と今後の計画について。

②町民の活用がどのように変わるか。

③町民の意見が反映されたのか。

④複合施設のメリットについて。

**町長** ①合併以来、町づくりの重要な懸案事項であった。

「なんぶ創生総合戦略」「生涯活躍のまちづくり」でも、町民が集う重要な複合施設のひとつとして位置付けた。今議会で、設計予算等を計上した。

②現公民館で年間6000人、図書館で1万4000人の利用がある。新たな施設では、一体化と交流スペースの配置で相互の交流が期待できる。

また、バス利用者の憩いの場としても提供できる。

③図書館機能の充実と複合施設全体を効率的に配置し、必要最小限の施設を考えている。

④複合化することで、多機能化と利便性の向上につながり、老若男女の交流スペースが生まれる。

また、子ども連れの皆さんにも気軽に使っていただける場として、更に、バス駅としての賑わい創出も期待できる。

今後、設計段階においても利用者の方の意見も伺いたい。

## 今後の林業施策

細田元教 議員

Q 林業事業者支援策が必要

A 間伐等により独自の乗せ補助を実施

町長



**細田** 南部町の第一次産業は農業ばかりでなく林業もある。今、伐採時期を迎えた木がたくさんある。町が政策誘導を行えば、一歩でも前に進み林業事業関係者が元気になる、里地里山が守られ町内にお金が循環すると思う。これらが出来る応援、サポート施策が必要と思う。

てきた。また町内にCLT<sup>※</sup>製造業者の本格稼働や西部森林組合も体制強化されることから、補助の上乗せや譲与税を財源とした間伐等の推進などの施策を打っていききたい。本町は75%が林地であり、林業を活性化させることが山林の荒廃防止になる上に里地里山を維持することが出来ると思う。

## 一般質問

**町長** 今後必要と思われる林業施策は、これまでと同様に森林組合や林業事業者が策定する森林経営計画や実施後支援し、間伐等は国・県の補助に町独自の乗せ補助を行い、事業内容の整備に着手している。町の今後の林業施策は、国による新たな森林経営管理制度や森林環境税、森林環境譲与税の創設など、森林資源の管理、林業の成長を促す環境が少しずつ整っ

※CLTとは  
Cross Laminated Timberの略。  
クロス（交差）、ラミネイティド（張り合わせる）、ティンバー（木材）の略。木の繊維の方向が直角に交わるように板材を重ねて接着した大判のパネル。軽くて強度や断熱性に優れる。1990年代から欧州で広がり、海外では大規模施設や中高層建築物にも活用されている。国土交通省が4月からCLTを構造材として使える新基準を定め、国交相の認定を受けなくても建設できるようになった。

## 法勝寺高校跡地利用事業

亀尾共二 議員

Q 温泉発掘に町から出す補助金要綱の提示を求める

A 補助金交付要綱は予算の確定後作成し提示する

町長



**亀尾** 法勝寺高校跡地にJOC Aが多世代協働型交流拠点施設の建設を計画していることについて伺う。

○温泉発掘に町から補助金を出す要綱の提示と説明を求める。

○町有地内の建造物解体費用が618万8千円必要だがその金額を割るようなことがあつてはならない。町が所有の土地の面積と売却価格はいくらか。

○現在利用者が活用大豆加工所も撤去されるが利用者に説明と理解が得られたのか、また今後の計画は。

○跡地利用事業によって町民が受けるメリットは何か。

○JOC Aと言う組織は、社会福祉の施設の法人か。

○町が補助金を出して温泉を発掘するのだが、仮に出なかったときはどうされるのか。

**町長** ○補助金交付要綱は予算成立後に速やかに作成し提示する。

○町所有の土地面積は1331㎡で、価格についてはJOC Aが、主体で交渉を進められており具体的な提示はない。

○大豆加工所利用者の方の要望も聞き取りながら、関係者と調整を行う考えである。

○多くの町民の皆さんに利用していただける施設として住民同士のつながりが増え地域の活性化、人口増加につながると考えている。

○JOC A青年海外協力協会は公益社団法人である。

○今は温泉が出るという前提でやっており、出なかったらどうかという推測では今現在ではお答えすることはできない。

## 単独介護用品支給事業

加藤 学 議員

Q 介護用品購入の現状は

A 利用者の要望を捉えている

町長



**加藤** 介護用品購入に係る手引きの第1条には「高齢者の在宅介護に必要な介護用品の購入を助成することにより家族の経済負担軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活が安定し、継続することを目的とする」とある。これは大変に良い事業である。しかし、もう少し拡大しなければ、現状に合わないのではないかと。

①クーポン券の購入は主に何に使われているか。

②クーポン券の支給を受けている世帯は毎月どの位の介護用品を購入しているか。

③要介護度1、2で紙おむつを必要としている人をどのように把握しているか。

④第8条に「入院、入所した場合、負担か。入院、入所した場合、負担

が増えるのだが。

**町長** ①クーポン券の対象は紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、その他、8品目に限られており、購入品目では、紙おむつ、尿取りパッドが多いと把握している。

②クーポン券の対象世帯がどの位購入しているのかは把握していない。これまで利用者のニーズに合わせて対象品目を変更して来た。今後も利用者の要望を捉える必要がある。

③排泄介護に係る、非常にデリケートな問題であり、介護保険認定の際にも、最も気を遣う項目である。要介護1、2の軽度者の紙おむつの要否は把握しづらいと考える。

④本事業の対象者は要介護度3、4及び5に認定されていて、継続して在宅介護をしている世帯となっている。入院、入所した場合は対象とならない。



# 先進地に学ぶ

■ 南部町議員団 ■

7月3・4・5日、2市1団体を視察しました。

## 自立支援

生活困窮世帯の要因は経済的な理由、病気、メンタルヘルスなど様々な課題が絡み合っている。その支援については担当課が個別に対応するよりもトータル的なサポート体制が必要となる。

自立支援先進地の草津市で行われている総合窓口相談「人と暮らしのサポートセンター」は、自立相談支援、住居確保支援、一時生活支援、就労準備支援など様々なニーズに対応するため担当課や関係機関と横断的に連携するチームが構築されている。

我が町でもスタートした「相談窓口」へのスキルアップにつなげる上で大いに参考になった。

### 【滋賀県草津市】



## 議会改革

行政を行う上で住民のニーズ把握は重要である。可児市は、「住みごこち一番・可児」の実現に向けて、選択と集中により限られた予算を有効に配分するスタイルをとっている。

中でも次世代へのリレーに重点を置き、子育て世代の意見を市政に反映するための取り組みとして「ママさん議会」を開催し、子育て環境の充実に力を注がれている。また「高校生議会」では、地域課題の解決に必要な広い視野を身に付けさせ、可児市の持続的な発展に寄与する人材の育成を柱とする。これらの取り組みは地方創生の重要なファクターである。当議会には、大いに参考になった。

### 【岐阜県可児市】



## 地方創生

### 【石川県白山市・佛子園行善寺】

JOCAが法勝寺地区に計画している障がいのある方とともにコラボする「複合型福祉施設」について、我が町の地域活性化にどのように影響するのかという視点で視察を行った。

今、地域の課題は自治能力の低下、見守り力の低下、地域行事の衰退などが挙げられる。その要因として、住民同士の日常的な関わり合いが気薄になったことである。様々な映像資料を見ながら事例説明を受ける中で、子どもから若者、お年寄りまでもが世代を超えて楽しんでいる映像は、強く印象に残った。



## 一般質問

### 複合施設建設

真壁容子議員

Q 大規模投資の住民負担は

A

建設費と経常経費の削減に努める

町長



**真壁** 複合施設建設の用地取得、設計管理費が今議会です上程されたが、住民からは異論も出ている。人口減が予想される中、今回の大規模財政投資にあたり、インフラ投資、維持管理と町財政、住民負担等について一定の見解を示す必要があるのではないかと。

「基本計画」の中には公民館では「社会教育ニーズに対応するため、運営を行う人材が課題」、図書館では「司書に非常勤が多いため、知識やノウハウの蓄積が困難」と記載されている。課題として上げられている以上、これらへの対応が求められるのではないかと。

**町長** 複合施設建設は合併以来の最重要施策の一つと認識している。多額の予算が必要であることは想定しており、財

源は合併特例債を活用したい。建設費用、ランニングコストなど最小限の費用となるよう、今後も協議検討しながら事業着手したい。

町内各施設の維持管理費などの経常経費をできるだけ削減できるように努め、施設の延命化を図り、使い続けることが必要と考えている。一方で、皆様にご負担いただく公共料金等についても、町財政のバランスを見ながら検討していくことになるかと考える。

### 教育長

施設が役割を果たすためのには、運営を担う人材の適切な配置は不可欠だ。具体的には社会教育主事や司書の教育的専門職だ。社会教育士や社会教育主事資格を併せ持つ司書の育成等、専門的で多様な人材による運営体制を構築したい。複合施設として整備されており、図書館と公民館を合体させた社会教育施設体制ができれば構想を巡らせているところだ。

### 人口増加対策

仲田司朗議員

Q 今まで行っていない人口増加策は

A

結婚情報サイトとSNSとの連携

町長



**仲田** 人口減少は地域コミュニティの機能の低下に与える影響が大きい。町内会や自治会といった住民組織の担い手が不足し、ともに助ける共同機能が低下するほか、地域住民によって構成される消防団の団員数減少は、地域の防災力を低下させる懸念がある。今まで行っている人口増加対策以外について、今後どのようにされようとしているのか。

**町長** 人口増加対策の一つである、未婚・晩婚化について結婚支援事業に取り組んでいる。結婚支援のための婚活イベントの実施、鳥取県が開設したとっとり出会いサポート「えんトリ」への登録、中海圏域の広域で行うイベントへの参加などの他、インターネットを活用した結婚支援ホームページ、南

部町恋さーくるも開設した。今後SNSとの連携等についても検討してみたい。

転入世帯に対するCATVの幹線は町全域で整備しているのので転入者が中海テレビに加入し、宅外への引き込み工事は全額公費負担で行っている。加入金の補助は本町をはじめ近隣の市町村でもしていない。加入金の通常価格は6万円だが中海テレビ放送で独自にキャンペーンを実施され、加入金はかなり割引される現状である。平成30年度実績で2万5千円ぐらいになっている。





## 住民の声を聞く会 報告

7月1日(日) 会場：プラザ西伯 参加者：20人



### 議 会

- 昨年この会の時、執行部も一緒に呼ぶことを希望した。
- 同様に、この会を議会前に開催欲しいことも希望した。
- 1.JOCAについて、ホームページには福祉事業が書いてない。なぜ、佛子園の事業に税金を使うのか。補助金とは完成されて出るもの、わからないものに補助金を出すのはおかしい。
- 2.天萬の小さな拠点についても、採算性を含めて検証が必要である。
- 以上の2点について議会としての事業予算賛否の判断基準は何か。
- 議員年金復活の話があったがどうか。議員報酬について、現在の報酬金額は。
- 南さいはく地域振興協議会では、10年間で200人の人口減少にある。この度、「新地域づくり計画」策定にあたり、人口の社会増減で住民が町内に移住している。利便性の悪さが原因であると思われるが、議会としても中山間に対する支援を考えて欲しい。

### 企画政策課

- 複合施設に図書館を統合する。町には2か所の図書館があり、どうサービスするか住民説明会を持つようにしてほしい。
- 公共交通の再編で10月から両長田地区はデマンドバス形態に代わる。これまで通らなかった谷あいまでバスが走るの、利便性と平等性は確保できる。しかし、法勝寺で乗り換えをしなければならない。複合施設にターミナルの計画があるが、それまでの乗り換え場所の空間を作って欲しい。
- デマンドバスは予約制になっているが、高齢者にとっては電話番号を忘れてしまう場合がある。何かよい方法で周知できるよう徹底してほしい。
- 複合施設の建設について、規模と施設内容について町民への説明がなされていない。住民への説明をするべきだ。既存の土地で対応すべきだ。
- O C R C事業で他から空き家などを利用した入居について、十分に精査をして受け入れて欲しい。

### 産業課

- 「生涯活躍の町づくり」を町は勧めているが、地域の生きがい、働きがいと意欲がわく施策が見えない。めぐみの里にあった、農産物直売所の閉店は残念であり、そういった点からも支援を願いたい。
- 直売所の売上が落ちている。売上調査などを行い、売上げアップの場所を含めた提言をして欲しい。
- 法勝寺高校跡地利用で大豆加工所が解体される。近いどこかに施設が計画されているのか。
- ため池の修理を要望したが、人災に係ることが優先との町回答であった。議会として検証してほしい。

### 建設課

- 町道の認定について(基準について)中山間地域では一戸だけのための進入路も多くある。今後、代々住み続けるためには、自助努力では困難になりかねない。
- 橋の欄干改修に2割負担がある。整合性を持ってほしい。

### 健康福祉課・子育て支援課

- 地域福祉委員あてに「いくらの郷」について、ひきこもりのアンケートがあった。何で急にアンケートするか？話はしたのか？町では把握が出来ないからとの回答であったが、何で社協なのか、町の仕事だと思った。
- 地域包括ケアの職員が2年くらいで変わるのはいかがなものか。
- 子育て支援課から地区の公園遊具の使用についての依頼があった。区長として住民の方への説明（使用）文書を依頼したが作って貰えなかった。行政として依頼する以上はその程度の対応は当然するべきと思う。

### 町民生活課

- 現在、法勝寺にある「忠霊塔」は中学校上の山にあり、管理も悪く、お参りすらできない現状である。長田神社の横など、便利のよい場所への移転を考えて欲しい。

# 住民の声をきく会 報告

6月30日(土)7月1日(日)に「住民の声をきく会」を開催しましたところ、ご参加頂いた皆様には、本当に有難うございました。この度の「議会だより」では、皆さまからいただきましたご意見、要望を掲載させていただきます。

次号では、できる範囲での回答をさせていただきます。

議会改革調査特別委員会



6月30日(土) 会場：まんてんホール 参加者：7人

### 議 会

- 「住民の声をきく会」の参加者が少ない。工夫によって魅力ある会を考えて欲しい。
- 水道料金に対して、議会で調査特別委員会の設置は考えていないか。
- 地域のイベント等に積極的に参加して、議員として地域の意見をきく機会を増やしてほしい。
- 事業の検証をされていないように感じる。
- 鶴田の産業廃棄物処分場の話がある。議会として反対の態度を示して欲しい。
- 報酬を減らして議員定数を増やしたらどうか。
- 議会の活性化を望む。

### 総務課

- 「なんでも相談」の会場がいつも“しあわせ”である。歩いて行ける場所で一回でもいいから開催してほしい。

### 企画政策課・教育委員会

- 各集落（区長）特別職として、区長手当を復活してほしい。
- 区長、評議員の名前が2つあり、使い方がおかしいので整理してほしい。
- J O C A（青年海外協力協会）に対する9,900万円の補助金が理解できない。温泉が出た場合の権利利益はどうなるのか。
- 協定書を福里団地、円山団地県道沿いの信号機設置をお願いしているが、一向に進まない。議会としても要望をしてほしい。

### 産業課

- 農村振興公社の仕事と内容について報告をして欲しい。（個人的に頼むことができるか）

### 建設課

- 水道料金の2年後の値上げについて、検証をしながら料金設定を考えて欲しい。
- 水道料金の値上げには絶対に反対で、公共施設にお金を投入するくらいなら、もっと住民に還元する手段を考えて欲しい。
- 水道料金値上げは反対の請願を提出している。今後、3年間の会計状況等を十分に検証し、住民に説明責任を果たして欲しい。

## 法勝寺地区地域振興協議会

### 「田んぼアート・地域づくり部の挑戦」



農業（稲作）をもっと身近なものとして知ってもらいたい。そうした願いを込めて平成27年から始めた「田んぼアート」は今年で4年目を迎えました。最初は子どもたちに人気のある「アンパンマン」に取り組みました。2年目は「バイキンマン」を作り、子どもたちの人気も上々で3年目もこのシリーズで作るうとみんなで話し合っていたのですが、南部町でオオサンショウウオサミットが開催されるとの事で、急ぎよ場所を落合に変え、町内外から参加してい

ただき「オオサンショウウオ」に挑戦しました。キャンパスは水田、絵の具は色の違う稲で作る「田んぼアート」への挑戦は、輪郭作りから始まります。竹とビニールひもを駆使して図面を見ながら下絵を作っていきます。そこにそれぞれの苗を植えていく・・・という地道な作業が2日かけて完了します。思いのほか反響を呼んだ田んぼアート。法勝寺地区近郊はもちろん、遠くは倉吉、鳥取から子どもさんやお孫さんと一緒に見に来ていただきました。水田に浮かび上がるアートの作品を作り続けて4年目、今年は元の場所（公民館前）に大山開山1300年にちなんだものを作りました。

地域づくり部は、地域の産業振興や環境美化を中心に西伯小学校の農業体験等に取り組んでいます。部員は13名で、大半が農業人。現在の農業を取り巻く環境に正直憂えています。これから先の農業はどうなるのでしょうか。少しでも米作りに関心を持ってもらいたいとの願いを込めて、地域づくり部は田んぼアートに挑戦していきます。

法勝寺地区地域振興協議会

会長 内藤 眞哉

## 議会活動日誌

### 4月

| 日  | 曜日 | 会議・行事                |
|----|----|----------------------|
| 3  | 火  | 鳥取県町村議会議長会役員会        |
| 11 | 水  | 広報常任委員会・議会改革調査特別委員会  |
| 24 | 火  | 広報常任委員会              |
| 26 | 木  | 行政調査受け入れ（伯耆町議会改革委員会） |

### 5月

| 日  | 曜日 | 会議・行事                   |
|----|----|-------------------------|
| 11 | 金  | 青年議会打ち合わせ               |
| 14 | 月  | 「住民の声をきく会」SANチャンネル打ち合わせ |
| 15 | 火  | 行政調査特別委員会・議会改革調査特別委員会   |
| 21 | 月  | 青年議会打ち合わせ（議長・教育長）       |
| 24 | 木  | 鳥取県町村議会議長会役員会           |
| 25 | 金  | 議会運営委員会                 |

|    |   |                |
|----|---|----------------|
| 28 | 月 | 全国町村議会議長副議長研修会 |
| 29 | 火 | 全国町村議会議長副議長研修会 |

### 6月

| 日  | 曜日 | 会議・行事                 |
|----|----|-----------------------|
| 15 | 金  | 議会運営委員会・全員協議会・定例議会本会議 |
| 18 | 月  | 定例議会本会議（一般質問）         |
| 19 | 火  | 定例議会本会議（一般質問）         |
| 20 | 水  | 常任委員会                 |
| 21 | 木  | 常任委員会                 |
| 22 | 金  | 議会運営委員会・全員協議会・定例議会本会議 |
| 25 | 月  | 鳥取県町村議会議長会定期総会        |
| 27 | 水  | 行政調査受け入れ（鹿児島県議団）      |
| 30 | 土  | 「住民の声をきく会」（まんてんホール）   |

あとかき

今年は、6月に「大阪北部地震」7月は「西日本豪雨災害」で多くの尊い命が失われました。お悔やみ申し上げます。

また家屋等甚大な被害をこうむられた多くの皆様に紙上を借りてお見舞い申し上げます。本町では、大規模な被害がありませんでしたが、防災意識を常日頃からもち、各議員は、災害時にどう考え行動するかを今一度再確認したいと思えます。

（仲田）

広報常任委員会

委員長 仲田 司朗  
副委員長 荊尾 芳之  
委員 景山 浩  
三嶋 義文  
白川 立真  
長束 博信  
滝山 克己  
加藤 学

